

平成 25 年 名護署管内の労働災害発生状況

平成 25 年の名護署管内の休業 4 日以上労働災害発生件数は、87 件で前年より 2 件減少したものの、依然として高止まりし厳しい状況となった。

一方、死亡災害は一昨年の 4 件から平成 25 年は 0 件となった。

業種別では、製造業 21 件（前年 15 件より 6 件増）、建設業 12 件（前年 19 件より 7 件減）、農業・畜産・水産業 8 件（前年 3 件より 5 件増）、商業 3 件（前年 12 件より 9 件減）ホテル業 7 件（前年と同数）、飲食店 4 件（前年と同数）、社会福祉施設 10 件（前年 11 件より 1 件減）などとなった。

事故の型別にみると、主なものとしては動力機械などによる「切れ・こすれ」が 20 件、通路などでの「転倒」14 件、「墜落・転落」12 件、「飛来・落下」12 件、機械などへの「はさまれ・巻き込まれ」8 件、「無理な動作による腰痛・ねんざ」が 7 件などとなった。

平成 26 年になって沖縄県内では死亡災害が多発しており、名護署管内でも死亡災害が 1 件発生し、休業 4 日以上労働災害も昨年くらべ増加していることから、労使一体となった労働災害防止への取り組みの強化を呼びかけている。

